

NATSUME SOSEKI AND

新宿区立 漱石山房記念館
Natsume Soseki Memorial Museum

AKUTAGAWA RYUNOSUKE

開館5周年記念

《特別展》



夏目漱石

と



芥川龍之介

- [会 場] 新宿区立漱石山房記念館 2階 資料展示室
- [会 期] 令和4(2022)年10月8日(土)～11月27日(日)
- [休 館 日] 毎週月曜日(休日にあたるときはその翌平日)
- [開 館 時 間] 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
- [観 覧 料] 一般500円、小中学生100円(通常展示共)
団体(20名以上・要事前連絡)は個人の観覧料の半額
小中学生は土日祝日無料
※障がい者手帳等をお持ちの方は手帳の提示で無料(介助者1名無料)
- [主 催] 新宿区立漱石山房記念館(公益財団法人新宿未来創造財団)
〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7
TEL.03-3205-0209 FAX.03-3205-0211 <https://soseki-museum.jp/>
- [共 催] 新宿区、新宿区教育委員会
- [協 力] 関口安義(都留文科大学名誉教授)、田端文士村記念館

2022 10.8sat - 11.27sun



関連イベント

各イベントの詳細は、
当館ウェブサイト、新宿未来創造財団広報紙
「Oh!レガス 新宿ニュース」をご確認ください。

特別展記念講演会「新しい芥川像を求めて」

日時:11月3日(木・祝)午後2時~3時30分
講師:関口安義(都留文科大学名誉教授) 定員:50名
有料(要事前申込)

映画鑑賞会「羅生門」原作:芥川龍之介/監督:黒澤明/1950年公開

日時:10月30日(日)午後2時~3時30分(開場 午後1時30分)
定員:50名(先着順) 参加無料(要整理券)

朗読会「芥川龍之介作品を読む」

芥川龍之介作「漱石山房の秋」「鼻」「蜘蛛の糸」「蜜柑」を朗読します。
日時:11月12日(土)午後2時~3時
朗読:ふみのしおり(新宿歴史博物館ボランティアガイド朗読の会)
定員:50名(先着順) 参加無料

文学さんぽ「漱石・龍之介ゆかりの地へ」

千駄木と田端に残る漱石と芥川龍之介ゆかりの地を巡ります。
日時:11月23日(水・祝)午前10時~2時間程度
定員:30名 有料(要事前申込)

ギャラリートーク

日時:10月16日(日)・11月20日(日)午後2時~2時30分 参加無料
このほかにYouTubeチャンネル「レガスちゃんねるby新宿未来創造財団」で担当学芸員による展示解説映像の配信を予定しています。

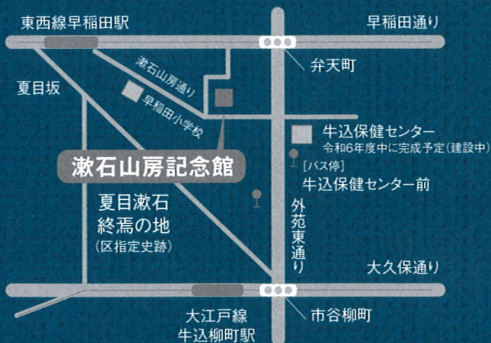
CAFE SOSEKI

特別展開催期間中、CAFE SOSEKIご利用の方に和三盆のお菓子をプレゼントします。営業日等はカフェのホームページをご確認ください。
<https://cafesoseki.base.shop/>

和三盆
プレゼント

次回展示予告-

《通常展》テーマ展示 ああ漱石山房
令和4年12月1日(木)~令和5年4月9日(日)



新宿区立 漱石山房記念館 Natsume Soseki Memorial Museum

〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7
TEL.03-3205-0209 FAX.03-3205-0211
<https://soseki-museum.jp/>

交通のご案内

電車:東京メトロ東西線「早稲田駅」1番出口より徒歩10分
都営地下鉄大江戸線「牛込柳町駅」東口より徒歩15分
バス:都営バス(白61)「牛込保健センター前」より徒歩2分
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

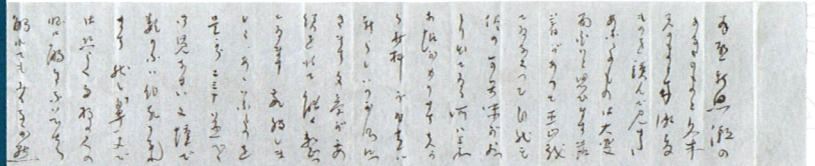
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、イベント内容に変更が生じる場合があります。最新の情報は、当館のウェブサイトにてご確認ください。

芥川龍之介(1892~1927)は今年、生誕130年・没後95年を迎えました。

文学好きな家庭に生まれた芥川は、大正4(1915)年11月18日、先輩である岡田(のち林原)耕三の紹介により友人久米正雄と、早稲田南町の漱石山房を訪れ、夏目漱石と出会いました。

漱石を第一の読者として創刊した第四次『新思潮』に発表した芥川の小説「鼻」は、漱石から激賞を受け、彼は作家として生きる決意を固めます。漱石は芥川が文壇に登場する案内役をつとめたことになりませんが、出会いの翌年12月9日に亡くなります。わずか1年ほどの交流でしたが、その間に受けた漱石の温かな言葉の数々は、芥川に大きな希望を与えました。

今回の特別展では、夏目漱石と芥川龍之介の交流を中心に、作家の道へと歩む芥川龍之介の姿を追います。



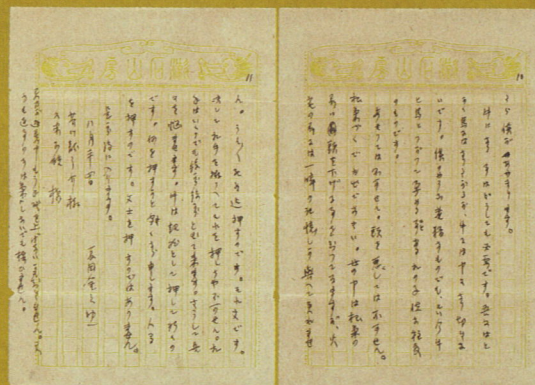
夏目金之助 芥川龍之介宛書簡(部分) 大正5(1916)年2月19日 日本近代文学館蔵



芥川龍之介
《河童図》
日本近代文学館蔵
芥川は河童の絵を
好んで描いた。

[展示期間:10/8(土)~10/30(日)]

敬服しました。ああいうものを
これから二三十並べて御覧なさい。
文壇で類のない作家になれます。



夏目金之助
芥川龍之介・久米正雄宛
書簡(部分)
大正5(1916)年8月24日付
日本近代文学館蔵

[展示期間:11/1(火)~11/27(日)]左記期間外は複製品を展示



芥川龍之介「漱石山房の秋」に登場する、
漱石が住んだ早稲田南町の家
(現・漱石山房記念館)の玄関

「あせつては不可せん。頭を悪くしては
不可せん。根気づくでお出でなさい。世
の中は根気の前に頭を下げる事を知つ
てゐますが、火花の前には一瞬の記憶し
かへて呉れません。(略)何を押すかと
聞くなら申します。人間を押すのです。
文士を押すのではありません。」